

資料4 (櫻井氏説明資料)

聴取項目に対する回答の骨子

櫻井よしこ

問1

天皇のお役割は基本的に祈りにあると考える。天皇のご存在と祭主としてのご活動は国民の心の拠り所である。

問2

皇族のお役割の第一は三笠宮寛仁殿下がおっしゃっておられたように、皇統継続の男系男子の人材を供給することである。またその活動は天皇のご公務の軽減などで出来得る限りの補佐をすることだと考える。

問3

皇族の減少は実に危機的な水準に達したと考える。国家としてここまで事態を放置したことに強い危惧を覚えており、一日も早く対処することが必要である。

問4

わが国の天皇の地位は一度の例外もなく男系で継承してきた。現行制度は長い歴史に則ったもので、これを守っていくことが皇室に対する国民の求心力を維持する方法だと思う。比類のない歴史の重みを尊重することなしには皇室の維持も難しい。

問5

そのことが女系天皇容認論につながる可能性があり、極めて慎重であるべきだと思う。

問6

皇位継承資格を女系に拡大することは日本の皇室を根本から変えてしまうことにつながる。従って賛成できない。

問7

この問いは、皇族の数が少ないために浮上した議論である。皇族の数をふやす手立てを実行すればこの問題は解消する。

問8

これは個々の事例に基づいて考えるのがよく、一般論では論じられない。

問9

①養子縁組を可能にすることが最も現実的な方法だと考える。

問10

男系の血筋を引く男子がいらっしゃる元宮家の方々を家族単位で養子にするのがよいのではないか。